

## 今後の検討スケジュール及び体制

本委員会は、3ヶ月に1回を目途に開催することとする。

国民経済計算調査会議委員の任期終了時の平成19年4月20日までに、検討結果を取りまとめることとし、平成17年基準改訂時に本委員会での検討結果を反映させるため、任期終了後も引き続き本委員会を設立・開催して課題等の検討を継続する。

以下、プライオリティの順と考えられる項目順番でスケジュールも考えたい。

## 1. 有形固定資産の推計方法等の検討

本委員会の目的が「推計精度低下の可能性が指摘されている有形固定資産」に関する検討を当面の課題としていることに鑑み、「有形固定資産」の推計手法、データコレクション（既存統計調査等の比較検討、新規調査の必要性・可能性等）の検討を主な検討課題とする。しかし、俎上に上がる、「民間企業ストック速報（粗）」、「SNAの有形固定資産（純）」及び「資本減耗推計」を切り離して議論することは避け、統合的なストック統計として整備する方向性を念頭に、個別推計手法及び利用基礎統計データの検証を行いたい。以下の手順が考えられる。

- (1) 概念的な整理 (第2回、第3回)
    - ・野村委員の研究論文のご紹介等
  - (2) 「民間企業ストック速報」等の現行の推計手法を詳細に洗い出し (第2回、第3回)
  - (3) 推計に利用している既存統計調査の検証 (第2回～第4回)
    - ・法人企業統計調査等の検証（除却額推計等）
    - ・「平成15年民間企業資本ストック実態調査」結果の分析
  - (4) 固定資本減耗の推計手法の検討 (第4回～第6回)
    - ・資本財別減耗パターンの検証
    - ・中古市場のデータ利用可能性の検討
    - ・リース市場のデータ利用可能性の検討
  - (5) 詳細な推計分類での推計可能性 (第5回～第7回)
    - コモディティフロー法とのリンクした推計手法の可能性の検討
    - 固定資本マトリックスの作成可能性の検討
    - 詳細な資本財分類による試算推計
2. 社会資本ストックの推計方法の改善 (第6回)
- 社会資本の減耗推計について（大規模な補修、災害復旧費との関係等）

3．土地資産額推計方法の検討 (第2回～)

- (1) 地価データの検証
- (2) 企業会計データの利用可能性の検討

4．在庫ストック推計の検討 (第7回)

- (1) フローでの推計方法とリンクした財別推計の可能性(マトリックス推計の可能性)

5．無形固定資産推計方法の改善 (第7回～第8回)

- (1) 概念的整理
  - 研究開発と資産との境界等
- (2) コンピュータソフトウェア推計の拡張の可能性
  - コンピュータソフトウェアの減耗推計について
- (3) 鉱物探査の取り扱い
- (4) プラントエンジニアリングの取り扱い